



平成 21 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社トラスト
代表者名 代表取締役社長 伊藤 誠英
(コード番号 3347 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理部長 伊藤 和繁
(TEL 052-219-9058)

第 2 四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 5 月 14 日の決算発表時に公表いたしました、平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	1,871	80	108	67	255 円 12 銭
今回修正(B)	1,638	89	119	72	278 円 66 銭
増減額(B)－(A)	△233	9	11	5	23 円 54 銭
増減率	△12.5	11.3%	10.2%	7.5%	9.2%
(ご参考) 前期実績(平成 21 年 3 月期 第 2 四半期累計期間)	2,139	191	232	92	342 円 11 銭

2. 業績予想修正の理由

中古車輸出業界におきましては、金融危機の影響により業界全体での輸出台数が 50%近く減少し、厳しい状況が続いております。このような状況のなか当社は、あらゆる施策により金融危機の影響を最小限に抑え、売上台数については前期の実績を維持したものの、予想に対しては若干下回る見込みとなりました。また、アフリカ地域等におきまして「米ドル高・現地通貨安」となり、高価格車両を買い控えるケースが多くみられ、低価格車両の割合が上昇したため販売単価が下落いたしました。その結果、売上高につきましては、予想を下回る見込みとなりました。しかしながら、固定資産の購入計画の見直しにより減価償却費が削減され、営業利益及び経常利益並びに四半期純利益につきましては、予想を上回る見込みとなりました。

3. 平成 22 年 3 月期通期の業績予想について

主力販売地域において日本製中古車への需要が復調してきており、第 3 四半期以降の販売台数も順調に推移することが見込まれるため、平成 22 年 3 月期通期の個別業績予想につきましては、平成 21 年 5 月 14 日に発表いたしました数値からの変更はございません。また、平成 21 年 10 月 1 日において J-net レンタリース株式会社を子会社化したため、平成 22 年 3 月期第 3 四半期より連結財務諸表を作成いたします。なお、J-net レンタリース株式会社の業績は予想に対して順調に推移しているため、平成 22 年 3 月期通期の連結業績予想につきましても、平成 21 年 9 月 7 日に発表いたしました数値からの変更はございません。

※上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものです。実際の業績はさまざまな要因により、これらの業績予想とは異なる可能性があります。

以 上